

講評

住宅部門

賞	作品名	講評
最優秀賞	蓮町一丁目のいえ	富岩運河沿いに建てられた、低い屋根の稜線が周辺環境と調和を意識した住宅。架構に採用された特徴的な嵌合合せ梁は、木材をより少ない材積で構造材として有効活用することだけでなく、難しい仕口加工を用いないなど経済的で製材効率の向上を考慮した構造です。多くの県産材を使用しながらも、木、金属、コンクリートと異素材同士のバランスをとることですっきりとした内観と、インパクトのある外観も高く評価されました。
優秀賞	涼風の家	杉の丸太梁と木組みの現し構造からなる、奥行きと広がりを感じられる住宅です。加工前の選木と、見える場所と見えない場所を意識した適材適所の木材配置で仕上がりを美しく、材料を効率的に無駄なく使用されています。手刻みならでの仕口継手加工・現し構造は、県産材を魅せるだけでなく、大工技術の伝承にもつながる好事例といえます。
優秀賞	よこながの家	どの部屋からも山の景色を眺めることができるよう配慮された、解放感のある窓と幅広の下見板が印象的な住宅です。地元・魚津市産をはじめとする県産材を全体の79%使用し、カーポートまで県産材で製作され、まさに県産材、木材への愛着を感じさせます。また、下見板は管理がしやすい1階部分までとし、軒の出を大きくするなど木材の劣化に配慮されています。

非住宅部門

賞	作品名	講評
最優秀賞	パッシブタウン第4街区 たんぼぼ保育園	ダイナミックな設計ながら、公園や周囲の風景になじんだ平屋建ての企業内保育園です。パッシブタウンで蓄積された気象データから快適性を検討し、風を積極的に取り入れる窓を配置し、高断熱外皮や縁側軒庇による中間領域とあわせて快適な保育環境が実現されています。また、構造には大径の県産材が目目を引く樹状方杖が採用されており、設計初期段階から地元の木材関係者等と木材調達の検討を重ね、製材全体の84%に新川産材を採用することが実現されています。建築物の性能だけでなく、県産材の活用を通して進めたプロジェクトは、まさに脱炭素社会の実現に向けた先駆的取組といえます。
特別賞	たかのす認定こども園	砺波の家屋様式である切妻屋根が小さく連続した平屋建てのこども園です。遊戯室の大空間を支える樹状方杖は、構造的だけでなく、大きな木の下で遊ぶこどもたちをイメージした木質空間の創出にも活かされています。方杖横のキャットウォークも木に触れる貴重な体験の場となっております。工費を抑えながら県産材を効果的に活用した優良事例として評価されました。
特別賞	福畠山来迎寺 観音納骨堂	半円状の屋根形状が目目を引く富山市中心市街地の納骨堂です。構造材には規格寸法の利用や辺材利用しており、県産材の実情にも配慮されています。煌びやかではなく、人が心地よく利用できる空間を意識して造られた内部は、落ち着いた色合いの納骨棚と特徴的な嵌合合せ梁を使用した架構構造で仕上げられています。県産材架構と空間演出が融合し、設計コンセプトどおり「美術館のようなまちなかの納骨堂」といえます。